
「レンズ核線条体動脈領域 branch atheromatous disease 型梗塞における運動麻痺進行抑制にかかわる治療関連因子の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センターにおいて、2015年8月1日～2023年12月31日の間で当院に入院したレンズ核線条体動脈領域 branch atheromatous disease (BAD: 分枝アテローム血栓症) 型梗塞の患者さんのうち、発症から4時間半までの超急性期に tPA 治療を受けた方を除外した患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

本研究は、レンズ核線条体動脈領域 BAD 型梗塞において、抗血栓療法をはじめとするどの治療関連因子が、運動麻痺の進行抑制に寄与しているかを明らかとすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2026年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究で収集する情報は次の通りです。本研究では試料の収集はいたしません。

診療録から年齢、性別、現病歴、既往歴、身長、体重、検査データ、画像データ、治療内容、治療後の神経症状の推移、入退院情報、薬剤情報に関して解析します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター・脳神経内科において、個人情報安全管理担当者である王子 聡が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

本研究に該当する患者さんの情報を判定後、研究期間内の任意のタイミングで診療録から情報を収集いたします。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

情報の利用者一覧

埼玉医科大学総合医療センター	脳神経内科	傳法	倫久（研究代表者）
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経内科	山元	正臣
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経内科	王子	聡
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経外科	齊藤	徹
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経外科	笠倉	至言
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経外科	飯星	智史
埼玉医科大学総合医療センター	脳神経内科	海田	賢一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先：

埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科 傳法 倫久（担当者氏名）
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
049-228-3603（直通、平日9時～16時）

○研究課題名：

レンズ核線条体動脈領域 branch atheromatous disease 型梗塞における運動麻痺進行抑制にかかわる治療関連因子の検討

○研究責任（代表）者：

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科 准教授 傳法 倫久